

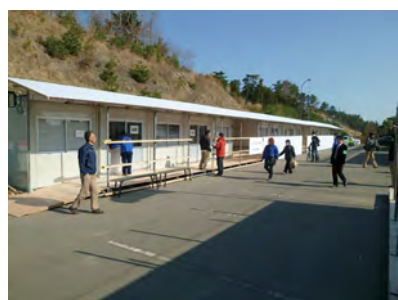
## 南三陸病院の再生



▲台湾紅十字会からの資金援助を受けて、高台にある志津川地区沼田の山林を切り拓き着工された南三陸病院・総合ケアセンター南三陸は、2015（平成27）年12月14日に開院した。

家族や親戚を失った喪失感や、住む家を失った環境の劇的変化に、多くの住民が直面していたことから、住民の健康を守る医療福祉の復興は急務だった。悲しみと教訓の上に立ち、複合的な医療福祉施設 南三陸病院・総合ケアセンター南三陸が整備された。病院、保健センター、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、社会福祉協議会、子育て支援センター等の機能をこの施設に集約した。

災害時に避難者支援や負傷者のトリアージと救命救急に対応できるスペースを敷地内に確保し、十分な容量の非常用発電機を備え、電気、灯油、LP ガス、木質ペレット、太陽光など多様な熱源を採用して、災害に備えている。



▲2011（平成23）年4月17日 公立志津川病院臨時診療所がベイサイドアリーナ駐車場に開設された。東北大学病院、国境なき医師団が開設のため力を注いしてくれた。



▲2011（平成23）年6月1日 登米市立よねやま診療所の一部に入院病床39床の公立志津川病院開設。



▲2012（平成24）年4月1日 沼田に仮設建物が完成。日本赤十字社の支援を受け、仮設公立南三陸診療所が開設された。